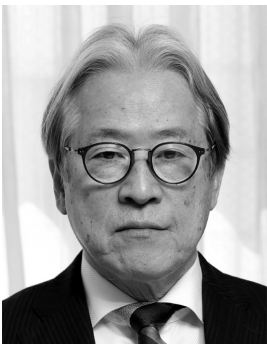


◆経済倶楽部講演会第4406回（3月11日）

韓国新大統領誕生！ 新大統領の対日、対北政策は？

コリア・レポート編集長 辺 真一

- * コロナ対応でも必要な日韓協力
- * 新大統領は対日関係に前向き
- * 変化が予想される歴史問題での対応
- * 日本に求められる対韓姿勢
- * 少数与党でスタートする新大統領
- * キナ臭い大統領就任までの2か月
- * 現在の文大統領にもある数々の疑惑
- * 今度はレッドラインを超える北朝鮮
- * 米朝首脳会談決裂で腹を据えた金正恩
- * 金日成生誕110周年の4月に照準



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、すっかりおなじみでございますが、コリア・レポートの辺さんにおいていただきました。ちょうど1年ちよっと前でございましたが、いつも、幸か不幸かと言います方はちよっと問題があります、来ていただくときは非常に問題が起きるときでございます、われわれが予想しているというよりは、やっぱりそういうタイミングになってきているわけですね。ウクライナの問題で世界が大変キナ臭くなっている、その中で北朝鮮の動きもたいへん危ないものになってきているような状況でございます。

真一 今日は、韓国の大統領の問題はもちろんありますが、そういった意味で、日本を含めて、北東アジアの情勢、それから、ひいてはアメリカ

を含めた西側諸国がこれをどう対処していくのか、そういったことを考える機会にいたしたいと思えます。それでは、辺さん、お願いいたします。（拍手）

コロナ対応でも必要な日韓協力

辺 ご無沙汰しております。1年ぶりということなのですけれども、また今回も、韓国大統領選挙の後ということで呼ばれたことで、テレビ番組、1本、これをキャンセルしてやってみてまいりました。乱暴な言い方なんですけれども、商売大繁盛のときにまた呼ばれました。（笑）

まだコロナが収まっておりませんが、先ほど私の1年前の講演を改めて読み直していただいたのですが、去年の日本と韓国のコ